



2024

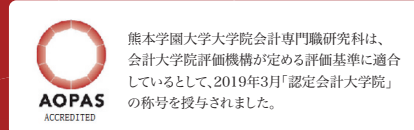
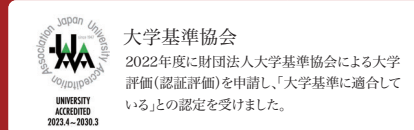


大学院事務局

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1
TEL.096-371-8036(直) FAX.096-364-5170
<https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/>
E-mail:daigakuin@kumagaku.ac.jp

【学校法人 熊本学園】

熊本学園大学・大学院 / 熊本学園大学付属高等学校 /
熊本学園大学付属中学校 / 熊本学園大学付属敬愛幼稚園



公認会計士、税理士を目指すあなたへ。

九州唯一の会計専門職大学院として

2009年に開設。

地域に必要とされる会計専門職として、

これまでに408名の修了生を送り出しています。

CONTENTS

研究科長挨拶	01
研究科概要	03
研究科の特色	03
資格試験に短期合格するためのロードマップ	05
修了生の声	06
働きながら学ぶあなたへ	07
施設・設備概要	08
特集1 座談会	09
カリキュラム[教育課程編成の方針・修了要件]	11
カリキュラム[開設科目一覧]	12
履修モデル	13
特集2 在学生の声	14
教員紹介	15
アドバイザー・ボード/ゲスト講義/修学概要	16
入試概要	17
修了後の進路	18
奨学制度/支援制度	19
納入金	20
キャンパスマップ	21
アクセスマップ	22

会計専門職研究科アカウント専用ウェブサイトの詳細はwebで



会計専門職研究科長
成宮 哲也 教授
Tetsuya Narumiya

本学は、熊本商科大学から熊本学園大学に改組し、発展してきました。その間に、経済界をはじめとして各界で活躍する多くの卒業生を輩出しています。公認会計士、税理士などの会計プロフェッションとして活躍する卒業生も多数います。これは、これまで本学が社会のニーズに応じてきた証左であります。このような伝統を踏まえ、熊本学園大学大学院会計専門職研究科は、2009(平成21)年4月に開設された、岡山県以西で唯一の会計専門職大学院です。

本研究科は、単に資格取得を目的とするだけでなく、専門職大学院での教育プログラムを通じて、高度な財務会計、管理会計、公会計、監査、租税法、さらにIT関連の分野など幅広い知識を学び、国内における問題だけでなく国際的な問題に対応できる高潔な倫理観をもった人材を養成することを目指しています。さらに、本研究科は、平日だけでなく、土曜日、日曜日にも開講するコースを設けているという特徴があります。土曜日、日曜日にも開講することによって、会計

専門職大学院で学習したいと希望する様々な方に、その機会を提供することを可能としています。

昨今の資本市場のグローバル化は、会計基準の国際化を押し進め、わが国でも企業会計基準はドラスティックな改正をもたらしました。会計基準の改正等は、法人税においても、課税所得金額の計算に大きな影響を及ぼしました。このような問題に対応するために、最新の研究成果を本研究科の教育プログラムを通して学ぶことは有益です。本研究科に入学することにより、このような機会を得ることができます。これは本研究科の魅力です。

本研究科は、開設してから15年目を迎え、既に300名を超える学生が修了しています。公認会計士、税理士として活躍している修了生は多数いますが、企業等において活躍している修了生も少なくありません。さらに、研究者になって、大学で研究している修了生もいます。このように修了後のキャリアは多彩です。在学中にしっかりと学習

し、さらに研究することによって、新たな可能性を見いだすこともできます。

ところで、本研究科は、地理的には九州の中心に位置するので、九州各地から入学しています。そのため様々なバックボーンをもった人と繋がりをもつことができ、それは学習するうえでの刺激にもなるし、さらにネットワークを作るうえでも役に立つでしょう。

熊本学園大学大学院会計専門職研究科に入学することは、同時に具体的な職業やキャリアに的を絞った選択でもあります。皆さんが、自らの将来のビジョンをしっかりと描き、確実に高度な知識を得て、スキルを上げていくことを祈念しています。

本研究科では、このような観点から、高度な会計スキルはもとより、高度な倫理観をも備えた人材の育成に必要な教育プログラムを整備し、さらに、その教育のために必要な強力なスタッフをそろえて、会計専門職を目指す方々をお待ちしています。

九州で唯一の、会計専門職大学院。

会計専門職研究科では、高度で専門的な知識・能力を備えた会計・税務に特化した高度専門職業人を養成します。

高度専門職業人としてコアとなる専門知識とスキルを修得し、論理的で職業倫理に基づく判断力を備えたうえで、公認会計士や税理士及び企業や非営利組織、自治体における会計業務や監査業務及び税務において指導的な役割を發揮できる人材の養成を教育の目標とします。

名称	会計専門職研究科アカウンティング専攻		
英語名称	Graduate School of Accountancy Major in Professional Accountancy		
課程	専門職学位課程	学生定員	入学定員30名 収容定員60名
学位名称	会計修士(専門職) Master of Professional Accountancy	修業年限	2年 (長期履修制度あり)

● 教育理念・目的

会計専門職研究科は、21世紀に相応しい高度な専門性と幅広い視野、そして社会的責任感と倫理観を備えた会計専門職業人の養成を目的とします。

● 教育課程編成・

実施の方針(カリキュラム・ポリシー)及び学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)



詳細はwebで

● 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学会計専門職研究科専門職学位課程においては、入学前に簿記・会計に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有し、次の会計専門職業人を目指す方を受け入れます。

1. 公認会計士 2. 税理士
3. 企業・地方自治体などの組織における会計専門家

なお、入学者選抜については、簿記・会計に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記1から3に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。

研究科の特色 feature

特色 1 公認会計士を目指す

九州における公認会計士養成の拠点として

公認会計士試験の受験者は都市部に集中する傾向があり、これまで九州地区は受験環境が十分に整っているとは言えない状況にありました。自宅から遠く離れた都市部の大学へ進学し、難関の公認会計士試験に備えるのは、精神的にも経済的にも大きな負担となります。

このような公認会計士試験における地域格差を解消し、公認会計士に対する地域社会のニーズに応えるために開設されたのが、本学会計専門職研究科(アカウンティングスクール)です。岡山県以西に会計専門職大学院が設置されていないなか、地域社会における公認会計士養成の拠点大学として、都市部の会計専門職大学院に負けないカリキュラムと充実したスタッフで、地方にありながら公認会計士試験にチャレンジする方を支援します。

■単位についての要件
 財務会計に属する科目 10単位以上
 管理会計に属する科目 6単位以上
 監査に属する科目 6単位以上
 → 合計28単位以上を修得する必要があります。

※1 上記の「単位についての要件」を満たして修了した方は、公認会計士試験短答式試験のうち3科目(財務会計論・管理会計論・監査論)が免除されます。
 ※2 「会計専門職基礎」の単位を修得し修了した方は、実務補習の単位が減免されます。



特色 2 税理士を目指す

地域社会に貢献できる高度な税理士を養成

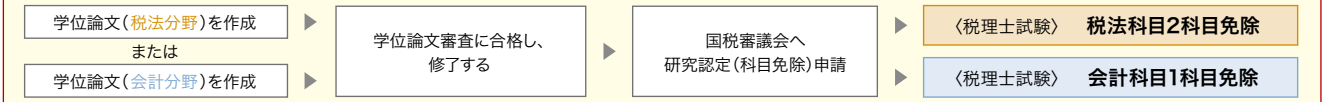
高度な専門知識で社会に貢献できる仕事に就きたい人にとって、税理士は最適な職業のひとつと言えるでしょう。税理士試験は難関ですが、科目合格制をとっており、働きながら資格取得を目指す方にとっても勉強がしやすくなっています。

これからの税理士は、税務書類の作成や税務相談といった従来の業務に加え、会計業務やコンサルタント業務に対応できる応用力が求められます。とりわけ地方の税理士には、税務だけでなく経営に関する幅広い相談がクライアントから寄せられます。それらのニーズに十分に対応するためにも、会計・税務に関する体系的な理解とそれを応用する能力が重要となります。

本学会計専門職研究科では、税理士に求められる幅広いニーズに対応できるよう、1年次に会計・税務に関する基本的知識を身につけ、2年次の演習・論文指導で応用力を養成します。

◎学位取得による税理士試験科目免除までの流れ

必要な単位を修得し、学位論文審査に合格した学位取得者は、税理士試験の科目免除の申請をすることができます。



税理士試験のしくみ

税理士試験の科目は、会計科目2科目、税法科目9科目の全11科目があり、そのうち5科目に合格する必要があります。試験科目のうち会計科目の「簿記論」と「財務諸表論」は必修科目なので、必ず受験しなければなりません。税法科目のうち「所得税法」と「法人税法」は選択必修科目です。ほかは選択科目となっているので、得意なものを選択することができます。1度合格した科目は生涯有効です。

税理士試験科目

会計科目	〈必修科目〉簿記論・財務諸表論	2科目必修
税法科目	〈選択必修科目〉 ・所得税法・法人税法	どちらか1科目を選択 ※2科目選択でも可
	〈選択科目〉 ・相続税法・酒税法・消費税法・国税徴収法 ・住民税・事業税・固定資産税	

特色 3 会計のスペシャリストを目指す

高度な会計知識を身につけ企業や非営利組織で活躍する

会計に関する知識は、複雑化する経済社会において必要不可欠なものです。企業の活動は言うに及ばず、病院や学校など、非営利の組織においても、適正な会計処理は欠かせません。本学会計専門職研究科では、会計・監査・税務等に関する高度な専門知識を身につけ、企業や非営利組織で活躍する人材を育成します。

理論と実務を交えた教育体制

本学会計専門職研究科では、研究者教員による「理論」と実務家教員による「最先端の実務」の両方を学ぶことで、高度な専門知識を持った会計専門職業人を育成します。

幅広い学びをサポート

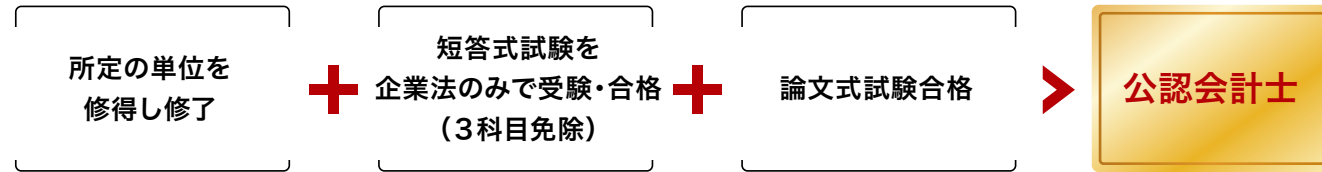
会計・監査・税務に関する科目はもちろん、経済・経営・ITなどの関連科目も開設しています。また、科目等履修制度も導入しています。

資格試験に短期合格するためのロードマップ

難関と言われる税理士試験や公認会計士試験ですが、計画的に学修することで必ず合格することができます。会計専門職大学院での2年間をうまく活用し、短期間で合格するためのロードマップを紹介します。

公認会計士

短答式試験の一部免除を使って短期合格！



公認会計士試験の最初の難関である短答式試験は、本学会計専門職研究科で所定の単位を修得し修了すると4科目のうち3科目(財務会計論・管理会計論・監査論)が免除となり、企業法の1科目だけ受験すればよいことになります。短答式試験の負担が大幅に軽減されることで、論文式試験対策に十分な時間をかけることができ、短期合格が近づきます。さらに、「会計専門職基礎」の単位を修得し修了すると、実務補習の単位が減免されます。

税理士 [パターン1]

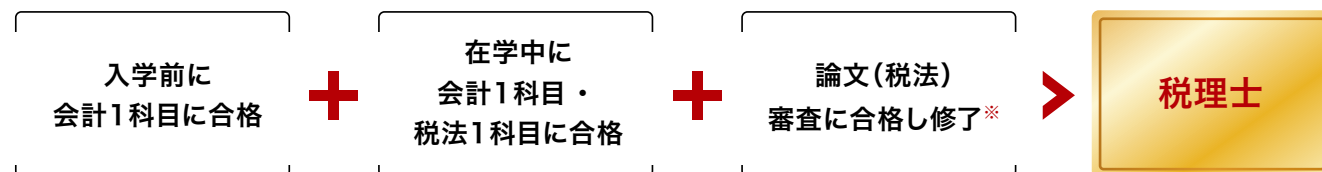
一から資格取得を目指す場合



初学者の方には、「会計リテラシー」を用意しています。基礎知識を身につけ、まずは1年次の会計2科目合格を目指します。

税理士 [パターン2]

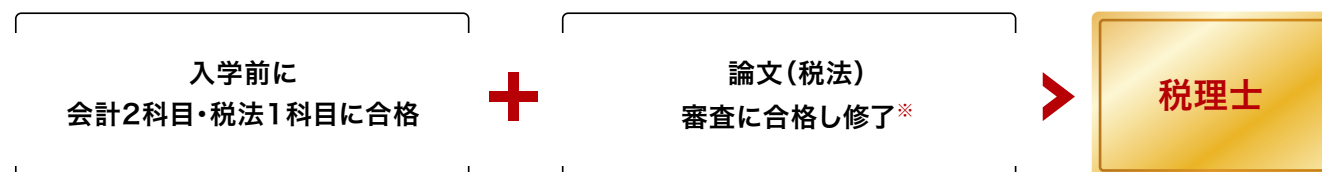
入学前から税理士試験の学修を開始し、資格取得を目指す場合



税理士試験の既学者の方は、暗記一辺倒の勉強方法から本学会計専門職研究科での専門教育により、その知識が体系的に整理されます。その結果、税理士試験合格に繋がります。

税理士 [パターン3]

研究活動(論文作成)を通じて資格取得を目指す場合



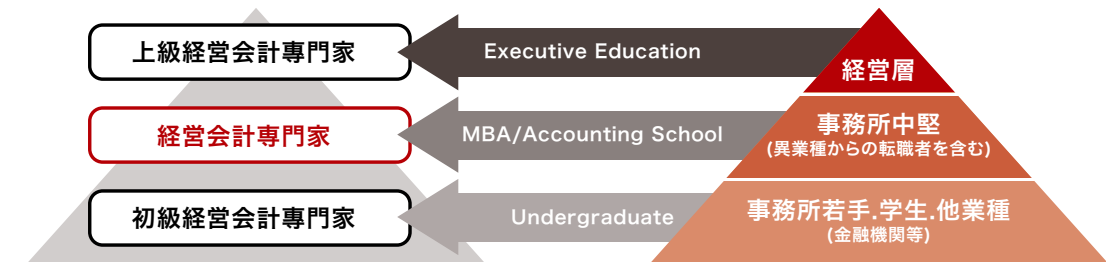
年に一度実施される税理士試験は、心理的にも、経済的にも大きな負担となります。そこで2年間を本学会計専門職研究科で研究活動(学位論文作成)に集中することで、税理士登録を目指します。

※本学会計専門職研究科では、学位論文作成前に「税法」または「会計」の分野を選択します。所定の単位数を修得し、学位論文審査に合格し修了後、学位論文(税法分野)の場合は「税法2科目免除」、学位論文(会計分野)の場合は「会計1科目免除」を国税審議会に申請することができます。(P4「学位取得による税理士試験科目免除までの流れ」参照)

資格取得後のキャリアアップ 経営会計専門家

所定の単位を修得して修了することで、税理士・公認会計士の資格取得および実務経験後、日本経営会計専門家協会が認定する「経営会計専門家」プログラムの受講資格が得られます。

〈「経営会計専門家」養成プログラムについて〉



資格取得要件

本研究科で

- 管理会計系科目4単位以上
 - ファイナンス系科目2単位以上
 - 経営学系科目2単位以上
- を含む合計20単位以上取得

+

協会主催の
集合研修

+

会計士・税理士
等の資格取得

+

3年以上の
関連業務経験

プログラム修了認定証発行

「経営会計専門家」資格の付与

修了生の声

税理士の実務に必要な基礎力を磨けた、大学院時代。上京し、勝負するための強い土台に。

会計専門職研究科では、同じ目標を持つ仲間たちと共に、税理士や会計士などの先生から専門的な授業を受けることができたのが、大きな魅力でした。平日は資格の専門学校で勉強し、土日に大学院に通う日々でした。大学院での学びを経て身についたのは、会計基準、税法、通達、逐条解説、判例等を自分で確認するという基礎力です。これは、後に組織の中で税理士として働く際に、大いに役立ちました。

卒業後は東京に出て、大手税理士事務所での勤務を経て独立。現在は新宿で税理士事務所を運営し、10,000件を超す税務相談を受けています。さらに野村資産承継研究所客員研究員としての業務も行っていきます。東京で頑張るほどにチャンスが生まれ、自分の人生を自分で決めることができるまでに至りました。今後も大学院で身に付けた基礎力を胸に、品質を落とさず事業規模を拡大させ、お客様の幸福につなげていきたいです。



2016年3月修了
齋藤 幸雄さん

初めてのキャンパスライフで、仲間がいる喜びを実感。論理的思考や伝える力が、実務にも生きています。

もともと、税理士事務所で働きながら通信教育で税理士試験の勉強をして3科目に合格。5科目合格を目指していましたが、年齢が40歳となり、年に1度の試験では税理士資格取得までに時間がかかるかもしれないとの不安があり、九州で唯一、熊本にある会計専門職研究科への進学を決意しました。私は大学には進学していなかったので、初めてのキャンパスライフ。通信教育時代と違い、勉強や仕事のことを相談できる同じ業界の仲間や先生方の存在は、かけがえのないもの。年齢や経歴に関係なくサポートし、成長させてくれました。さらに税理士試験科目に限らない広い知識を得ることができ、レポートや論文指導を通じて文章を書く力を磨けたことで、物事を論理的に考える力や相手に物事を伝える力が身につく、今も実務に生かしています。今後は税理士として開業する予定です。



2023年3月修了
木村 俊文さん

働きながら学ぶあなたへ

本学会計専門職研究科には、仕事をしながら学んでいる方が大勢います。ウィークエンドコースや長期履修制度を用意し、働きながら学ぶ方々を積極的に支援します。

ウィークエンドコース

金曜日夜間・土曜日・日曜日を使って2年間で修了！働きながら学べる教育環境

本学会計専門職研究科では、社会人の方が仕事と勉強を両立できる「ウィークエンドコース」を設けています。金曜日の夜間・土曜日・日曜日という週末を使って授業を実施し、2年間で修了することのできるカリキュラムとなっています。

九州各県から熊本へ

週末3日間の授業だけで修了することができるウィークエンドコースには、九州各県から通う社会人が数多く在籍しています。



【ウィークエンドコースの授業イメージ】

時限	時間	金	土	日
1時限	9:00~10:30	×	○	○
2時限	10:40~12:10	×	○	○
3時限	13:00~14:30	×	○	○
4時限	14:40~16:10	×	○	○
5時限	16:20~17:50	×	○	○
前時限	18:00~19:30	△	○	×
後時限	19:40~21:10	△	○	×

※金曜日前時限・後時限は論文指導が実施されます。
※補講等で日曜日の夜間に授業が行われる場合もあります。

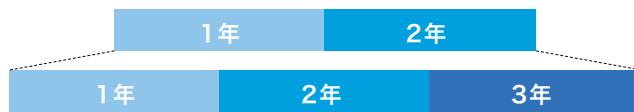
ウィークエンドコースの特徴

- 原則として平日コースと同じ教員が担当します。各コースで行われる授業に差はありません。
- ウィークエンドコースで行われる授業は、必修科目が中心となっています。すべての科目がウィークエンドコースで行われる訳ではありません（一部の科目は平日コースでのみ実施しています）。

長期履修制度

標準修業年限を1年間延長することでゆとりを持った履修計画が可能に！

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、標準修業年限内（本学会計専門職研究科の場合、2年間）での履修が困難な場合、修業年限を延長して履修できる制度です。



学費も3年間に分割することで、経済的負担が軽減されます。

●どんな人が対象？

長期履修を申し出ることができるのは、次の各号のいずれかに該当する方です。

- (1) 入学時において職業等を有する者
- (2) 介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- (3) その他当該研究科が相当な事情があると認めた者

●修業年限・学費はどうなるの？

通常、本学会計専門職研究科の標準修業年限は2年ですが、長期履修の場合、修業年限が3年になります。学費は、2年間の学費を3年間に分割し、延長1年間分の施設費を加算した金額となります。

●手続きは？

長期履修を希望する方は、事前に大学院事務室までお問い合わせください。その後、入試出願書類提出時に以下の書類を同封していただきます。

- (1) 長期履修申請書（本学所定用紙）
- (2) 長期履修が必要であることを証明する書類（在職証明書等）

●その他

- 長期履修生として入学された方が、標準修業年限（2年）に変更することはできません。また、標準修業年限の院生が長期履修生へ変更することはできません。
- 長期履修生として履修する場合、教育訓練給付制度の申請はできません。
- 日本学生支援機構の奨学金については申し込みが可能です。詳しくは大学院事務室までお問い合わせください。

在学生の声

働きながら、無理せず自分のペースで楽しく学んでいます。

会計の専門家だった父に憧れて自分も税理士を目指していましたが、試験がうまくいかずに一度断念し、一般企業に就職していました。しかしコロナ禍をきっかけに、自分の強みになる資格を持つことの魅力に気付かされ、今の職場でのキャリアアップを目指して税理士資格に再挑戦することに決めました。大学院への進学を選んだのは、学位取得による税理士試験科目免除に加えて、ウィークエンドコースなら仕事と両立でき、週末で授業が完結するからです。自身への負担を考えて、無理せず学べるよう長期履修制度を選択しました。大学院では、先生方が様々な視点から魅力的な授業をしてくれ、会計のみならず経営など幅広く勉強でき、部下の能力をどう引き出すかなど、今の職場でも生かせる内容も多いです。じっくり学んで税理士資格を取り、論理的で説得力のある会計専門職として職場で力を発揮するのが目標です。税理士志望者だけでなく、会計や経営の専門性を高めたい方にも、大学院での学びをおすすめしたいです。



2年生 井上 あや さん

施設・設備概要 facilities

◆ 自習室・パソコン室（院生専用）

本学会計専門職研究科では、院生の学修を支援する様々な施設・設備を用意しています。

自習室は、専用の机・書架・ロッカーが備えられており、集中して勉強に取り組むことができるよう、個人ごとにスペースが区切られています。また、ネットワークや電源も完備しており、ノートパソコン等を持ち込んだ学修も快適に行うことができます。

自習室に近接する形で専用のパソコン室や図書室を配置しており、論文作成や資料収集を効率的に行うことができます。また、休憩時間や仲間との語らいの場として、大学院生専用のラウンジもあり、高度会計専門職業人を養成するための充実した学修環境を提供します。



◆ 図書館

地上4階地下2階の図書館はキャンパスのほぼ中央に位置し、学習図書館、研究図書館、保存図書館としての機能を持ち、開架図書20万冊、965席の閲覧室のある静かな環境の中、毎日多くの学生、卒業生や一般市民が訪れています。現在、蔵書約92万冊、学術雑誌約8,200タイトル、視聴覚資料約16,000点などを所蔵し、西日本有数の規模と内容を誇っています。

開学以来、学部や学科、大学院の増設に合わせて専門資料や図書館機能の充実に努めてきました。これまで蓄積されてきた資料や情報の提供はもとより、最新の学術情報を迅速・的確に提供できるレファレンス体制も整えています。

より多くの利用者にこれらの資料や機能を活用してもらうために、年間約320日開館しており、授業期間だけでなく長期休業期間も存分に利用することができます。

【開館時間】

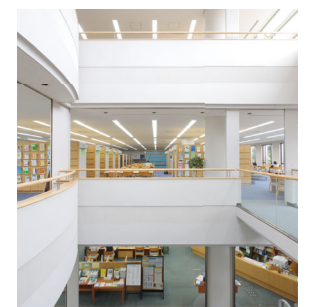
	授業期間		休業期間	
	月～土	日	月～土	日
1階	8:50～22:00	10:00～17:00	8:50～21:00	10:00～16:00
2・3階				-

※授業期間の地階書庫の利用は21:30まで。

【休館日】

- 国民の祝日 ● 年末・年始 ● 創立記念日(5月30日)
- 入学試験日 ● 夏期一斉休業日(8月13日～8月17日)

※その他、臨時の休館・開館時間の変更は、掲示・ホームページでお知らせします。



座談会 先生と在学生が語る 「会計専門職研究科での勉強、どうですか？」

1年生と2年生、さらに新改准教授に集ってもらい、会計専門職研究科での勉強のリアルや、気になる論文について語り合ってもらいました。



新改 敬英 准教授 (管理会計論) | 1年生 浦田 光一さん | 1年生 宮園 亜郁美さん | 1年生 緒方 義恵さん | 2年生(長期履修生) 井上 あやさん | 2年生 逆瀬川 豊さん | 2年生 齊藤 進さん

試験に“出ない”分野の学びに 大きな価値がある

新改准教授(以下・新改)／2年生の3人は大学院に通い始めて丸1年が経ちましたが、院での日々はどんな印象ですか？

逆瀬川さん(以下・逆瀬川)／私はウィークエンドコース在籍で、福岡の会計事務所に勤めながら週末に熊本へ通っています。最初は税理士試験の科目免除が一番の目的だったので、税理士試験に関係のない講義は必要なのか？と戸惑いもありました。でも、いろんな講義を受ける中で視野が広がって、「無駄ではない、むしろ、税理士として活躍するために必要なことだ」と実感しています。

新改／特に、どんな講義で感じましたか？

逆瀬川／私の場合は、管理会計や監査などは大きかったです。税理士が知っているべきことだなど。AIの進化が目覚ましい中で、税理士の存在意義を高めてくれるような学びを、大学院で得られているように感じています。

齊藤さん(以下・齊藤)／私は、以前は税理士事務所勤めながら独学で税理士試験科目合格を目指していました。管理会計や企

業法などは試験には関係ない内容なので初めて触れる分野だったのですが、逆にとても興味深く、自分の幅を広げてくれているように思います。

井上さん(以下・井上)／私は2年生ではありますが長期履修学生として通っていて、論文執筆も来年の予定です。実は税理士試験の受験もこれからなのですが、企業法の歴史など深いところも学べたり、税理士資格を取得した後に今の職場で生かせるような知識だったり、学べる内容が深いような印象があります。

新改／特に生成AIの進歩は目を見張るものがある、1年後どうなっているかも想像がつかないくらい。そんな世の中で、税理士をはじめとした会計専門職の価値は雑談や答えのない曖昧な部分にこそ出てくるのかもしれない。そう言う意味で、大学院で得た知識を上手に生かして欲しいという思いはありますね。逆瀬川さんと齊藤さんは、論文にも取りかかっている時期だと思いますが、論文のテーマはどう考えるとよいのでしょうか？

齊藤／私の場合は5月開催の論文テーマ発表会を、1年生で聴講にいきました。先輩達の話聞いてテーマのヒントをもらって、興味が持てる分野があったらそれをもっと深掘りする形で、テーマを絞り込んでいきましたね。

逆瀬川／私の場合は会計事務所勤めているので、業務上で興味を持った分野をピックアップして、それが実際に論文のテーマになりえるかどうかを先生に相談しました。実

務経験がない方は、授業で出てくる過去の判例などをたくさん見て、その中から興味を持つものを探すといいのかなと思います。

新改／浦田さんは1年生ですが、税理士事務所での実務経験があるそうですね。授業や論文についてはどう感じていますか？

浦田さん(以下・浦田)／私は約10年前まで税理士事務所に勤めていて、その後、違う業界の企業に勤めながら税理士試験に3科目合格し、学位取得による税理士試験科目免除のために入学しました。税理士事務所時代の実務で法人の仕事が多くてノウハウがあったので、逆に所得税に関する講義が興味深く、学び甲斐があります。論文のテーマにも選ぶ予定です。将来、税理士として働く上で、法人・個人バランス良く応じられるようになれそうな手応えがあります。

新改／実務経験があるからこそ、大学院での学びの真髄を実感されているのかもしれませんがね。

宮園さん(以下・宮園)／私は大学時代は栄養学を学んでいて、実は大学院で初めて会計分野に触れています。ゼロからの勉強なのでまだ付いていくのに必死な状態です。叔父が税理士で、事務所でアルバイトをしているのですが、叔父は法律関係にも強く、顧客にとっても頼られているように見えます。その姿を見ているので、大学院で幅広く学べる今の環境のありがたさを、通い始めて1ヵ月ですでに実感しています。

新改／特に興味を持った分野は？

宮園／基本の基本だと思いますが、やっぱり租税法原理ですね。新しい知識を毎日得られて、新鮮です。まだ税理士試験に1科目も合格していないので、まずは1年生で簿記論に合格できるように頑張っています。

新改／緒方さんは、学部生時代に税理士試験の簿記論に合格しているそうですね。

緒方さん(以下・緒方)／はい、合格したのは、学部3年生の時です。私は熊本学園大学商学部を卒業して、大学院に進学しました。学部時代と講義の雰囲気は全然違いますね。

新改／在学中に残り2科目の科目合格も目指しているそうですね。

緒方／はい。いわゆる受験対策勉強では、試験に出やすい所だけにフォーカスしたり暗記ばかりになりがちですが、大学院の講義では背景まで丁寧に教えてくれるので、覚えた知識と知識の間が埋まって、理解が深まります。飛び飛びだった知識の道が1本になるように感じています。

同期生や先輩の存在が心強い チーム戦で試験や論文に臨む

新改／話は変わりますが、2年生に質問です。大学院での授業は決して楽ではないと思いますが、モチベーションが下がったとき、建て直すために行っていることはありますか？

井上／私の場合は、大学院の同期生と「何かいい方法はないかな」と話し合ったり、仕事の話をしあったりすることが多いです。解決策が出なくても、話すだけで気分が上がって、前向きな気持ちになります。同級生に、自分と同じような状況で通っている人が多いので、話しやすいです。

新改／同期生というのは、同時にお互いが先生であったりメンターとしての存在にもなりうるんですね。

齊藤／私は一旦仕事を辞めて、平日コースに通って勉強に専念しています。今、実感しているのは、働き始めると自分の時間がなくなることです。平日コースに限った話ですが、自分のために使える時間がたくさんある今のうちに、勉強はもちろん、趣味や学外での活動などにも取り組めれば、自分の中の balan



スが取れて、人間的な深みにも繋げられるように思いますね。周りは若い学生が多いので、そのパワーも刺激になります。

緒方／ちなみに、院生同士の横のつながりや縦の繋がりはどんな感じですか？できれば繋がりをつくりたいと思っているのですが。

井上／ウィークエンドコースの場合は、最初一緒に昼を食べる時間を設けたりして、交流する時間が設けられたりしました。後は、院生が主体になって交流する場を設けることもあります。

新改／ウィークエンドコースの学生は、週末の2日間に集中して長時間一緒にいるから、仲良くなりやすいようですね。平日コースでも、SNSのグループをみんなで作る先生もいるようですね。試験の情報交換など、先輩後輩や同期生同士のつながりはあった方が良くと思いますし、院生皆のチーム戦で試験に臨むことができる環境が理想ですね。

税理士資格取得のために 選んだこの道の価値

新改／皆さんは、税理士資格取得のために、5科目合格か学位取得による税理士試験科目免除を選ぶかの選択肢で、後者を選ばれたと思います。改めて振り返って、「大学院に通う」という選択は、どうでしたでしょうか？

浦田／Web通信講座を利用して出勤前や帰宅後に勉強していました。合計すると年間1,200時間ほどになるんです。それでも落ちてしまうこともあるし、そうなるもまた1年1,200時間の勉強が必要になる訳ですね。私の場合は、ずっと5科目合格を目指していたのですが、50代という年齢もあり、ふと、「それだけの時間を費やすより、学位取得による税理士試験科目免除で早く合格して、税理士としての時間を多く過ごす方が有益だ」と切り替えて、今ここにいます。

逆瀬川／私も同じ考えです。付け加えるとす

れば、やっぱり税理士試験の勉強だけでは叶わない学びが大学院にはある。人によっては、学位取得による税理士試験科目免除は近道だと捉えているかもしれませんが、むしろプラスアルファの学びが多く、それが自分にとっては大きな強みになっていると思います。

齊藤／それに、大学院の学修環境も恵まれていて、私は1年生で、税理士試験1科目を取得できました。今年は最後の1科目の取得を目指しています。とても充実した時間を過ごしていることを嬉しく感じています。

井上／私はゼロからのスタートで、「仕事をしながら、なるべく早く、効率的に」との思いで大学院への進学を選びました。時間は有限ですから、その中でベストなパフォーマンスができる環境にいると思います。

緒方／私は学部生時代に、「学位取得による税理士試験科目免除という選択肢がある」と知って、この制度を生かさない手はないと、迷わず大学院に来ました。自分の時間をどんな環境で費やすかということは大事だし、自分にとって価値のある選択ができたかなと思っています。

宮園／皆さんのおっしゃるとおり、私も早く税理士になって働けるようになりたいという一念で、大学院に通っています。ただ、実は大学院で勉強するうちに少し意識の変化もありました。講義が楽しくて、試験に必要な科目以外の知識が得られることの価値の高さをとても実感しています。今は、税理士試験合格を1年延ばしてでも、この大学院でたくさんの講義を受けたいとすら思っています。幅広い知識を身に付けることの価値を、教えてくれた環境です。

新改／なるほど。確かに、目的を1つに定めても、そのための手段は1つではないという状況があるので、それぞれの立場で柔軟に考えて、今ここにいらっしやるんですね。その思いを胸に、ここでもっと学びを深めて、合格後に大きく活躍していただきたいです！



◆ 教育の基本目標

会計専門職業人としてコアとなる専門知識とスキルを修得し、かつ知識やスキルを適正に行使し得る論理的で職業倫理に基づく判断力を備えたいと、企業並びに非営利組織、政府、自治体における会計業務や監査業務及び税務において指導的な役割を發揮できる人材を養成することを教育の基本目標としています。

◆ 体系とプロセスを重視

体系とプロセスを重視した教育を確保するために、財務会計分野、管理会計分野、監査分野、企業法分野、租税法分野、経済・経営分野、統計・IT分野、実践分野に科目を分類し、各分野に基礎科目群、発展科目群、応用・実践科目群を設置しています。基礎科目群では、会計専門職業人に必要不可欠な基礎的知識を修得します。発展科目群では、理論学習を進展させて、より高度な知識を身につけていきます。応用・実践科目群では、最先端の会計理論を修得し、高度な会計専門知識を実務に応用する能力を養成します。

また、経済・経営分野及び統計・IT分野の科目については選択科目として配置し、自己の思考を論理的に説明する能力を育成するためのワークショップ形式の科目を用意しています。

◆ 演習及び論文指導

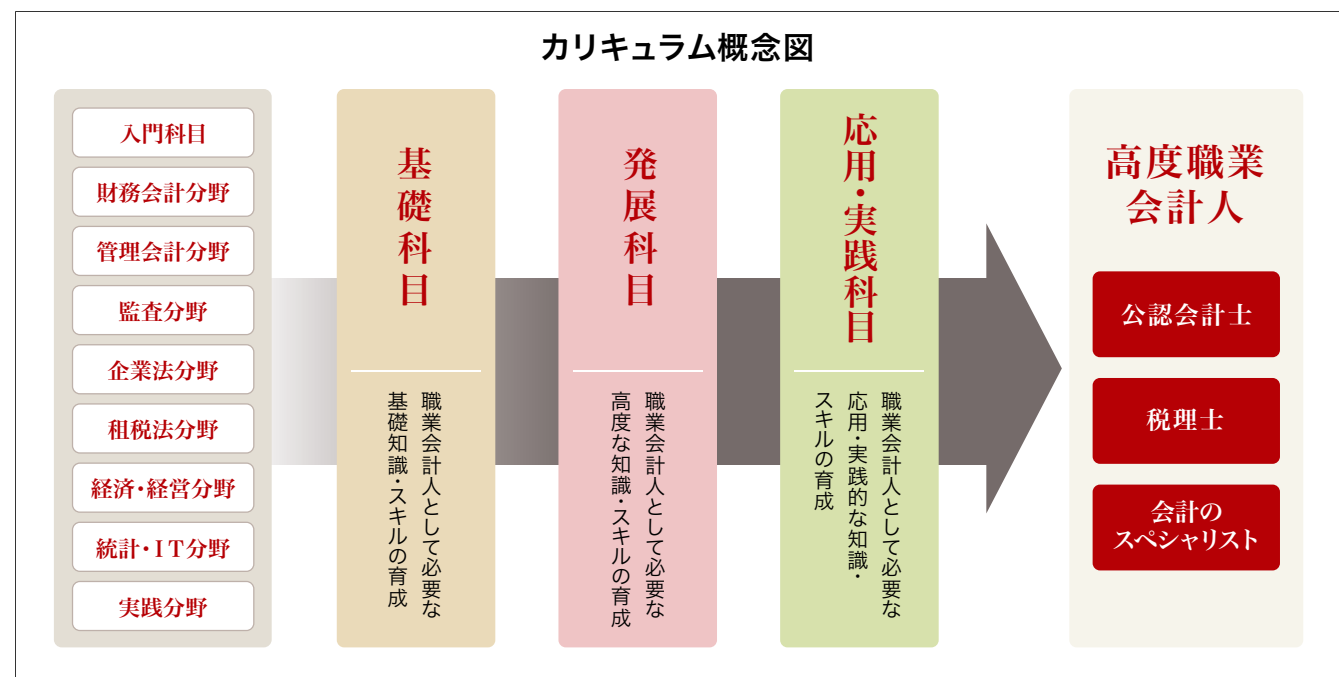
会計専門職業人として、リサーチ能力及び文章作法能力を高め、さらにディベート、プレゼンテーション、コミュニケーションの各スキルを磨くために、少人数制の演習及び論文指導を設けています。

【① 演習】 会計専門家の教育とともに公認会計士試験対応の教育も含まれます。講義で身につけた知識が定着したかどうかを確認し、それを論理的な文章に書くトレーニングは必須となります。また、課題に対する質問を受けたり、解答例に対する解説を行うことによって、問題点や疑問点を院生自らが解決するための支援を行います。

【② 論文指導】 選択によって、2年間の研究成果のひとつとして当該院生が関心を持つ争点(課題)に関する論文の作成を、中間報告を経て論文完成まで個別に指導します。

◆ 修了要件 (2024年度(予定))

- ① 修了に必要な単位数は50単位です。
- ② 修了に必要な単位数は、次の全ての条件を満たすように修得する必要があります。
 - ・入門科目から必修2単位
 - ・財務会計分野から必修4単位、選択必修2単位を含めて10単位以上
 - ・管理会計分野から必修4単位を含めて6単位以上
 - ・監査分野から必修4単位を含めて6単位以上
 - ・企業法分野から必修4単位を含めて4単位以上
 - ・租税法分野から必修2単位を含めて6単位以上
 - ・実践分野から選択必修4単位
- ③ 1年間に履修できる単位の上限は36単位です。
- ④ 「論文指導Ⅰ」「論文指導Ⅱ」を選択し、論文を提出する人は、論文の審査及び最終試験に合格しなければ修了することができません。(「学位取得による税理士試験科目免除」申請には学位論文が必要です。)



【2024年度 開設科目一覧(予定)】

科目区分	授業科目	単位	開設年次	履修区分	修了要件
入門科目	会計リテラシー	1	1・2年次	必修	必修2単位
	アカデミック・ライティング	1	1・2年次	必修	
	会計専門職基礎	2	1・2年次	選択	
財務会計分野	基礎科目	2	1・2年次	必修	必修4単位 選択必修科目 2単位を含め 10単位以上
	上級簿記	2	1・2年次	選択	
	基本財務会計	2	1・2年次	必修	
	上級財務会計	2	1・2年次	選択	
	発展科目	2	1・2年次	選択必修	
	国際財務報告基準	2	1・2年次	選択必修	
	国際会計	2	1・2年次	選択	
	会計制度	2	1・2年次	選択	
	非営利法人会計	2	1・2年次	選択	
	公会計	2	1・2年次	選択	
応用・実践科目	非営利・公会計実務指導	2	2年次	選択	
管理会計分野	基礎科目	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 6単位以上
	基本原価計算	2	1・2年次	必修	
	上級原価計算	2	1・2年次	選択	
	基本管理会計	2	1・2年次	必修	
	上級管理会計	2	1・2年次	選択	
発展科目	意思決定会計	2	1・2年次	選択	
財務分析	2	1・2年次	選択		
企業評価	2	1・2年次	選択		
監査分野	基礎科目	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 6単位以上
	監査監査	2	1・2年次	必修	
	監査基準	2	1・2年次	選択	
	会計職業倫理	2	1・2年次	必修	
	監査制度	2	1・2年次	選択	
	監査実務	2	1・2年次	選択	
	公監査	2	1・2年次	選択	
内部統制・内部監査	2	1・2年次	選択		
企業法分野	基礎科目	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 4単位以上
	企業法基礎	2	1・2年次	必修	
	企業法応用	2	1・2年次	必修	
発展科目	民法(入門)	2	1・2年次	選択	
民法(発展)	2	1・2年次	選択		
応用・実践科目	コーポレート・ガバナンス	2	2年次	選択	
租税法分野	基礎科目	2	1・2年次	必修	必修2単位を含め 6単位以上
	租税法原理	2	1・2年次	必修	
	法人税法Ⅰ	2	1・2年次	選択	
	法人税法Ⅱ	2	1・2年次	選択	
	所得税法Ⅰ	2	1・2年次	選択	
	所得税法Ⅱ	2	1・2年次	選択	
	消費税法	2	1・2年次	選択	
	相続税法	2	1・2年次	選択	
	租税手続法・争訟法	2	1・2年次	選択	
	租税法事例研究	2	1・2年次	選択	
応用・実践科目	国際税務	2	2年次	選択	
経済・経営分野	基礎科目	2	1・2年次	選択	選択必修4単位
	ミクロ経済学	2	1・2年次	選択	
	マクロ経済学	2	1・2年次	選択	
	経営管理	2	1・2年次	選択	
発展科目	コーポレート・ファイナンス	2	1・2年次	選択	
ビジネスコミュニケーション	2	1・2年次	選択		
応用・実践科目	経営コンサルティング	2	2年次	選択	
統計・IT分野	基礎科目	2	1・2年次	選択	選択必修4単位
	ビジネス統計	2	1・2年次	選択	
	発展科目	ICTと会計・税務	2	1・2年次	
応用・実践科目	情報セキュリティ	2	2年次	選択	
実践分野	実践科目	2	2年次	選択必修	選択必修4単位
	財務会計演習Ⅰ	2	2年次	選択必修	
	財務会計演習Ⅱ	2	2年次	選択必修	
	管理会計演習Ⅰ	2	2年次	選択必修	
	管理会計演習Ⅱ	2	2年次	選択必修	
	監査演習Ⅰ	2	2年次	選択必修	
	監査演習Ⅱ	2	2年次	選択必修	
	租税法演習Ⅰ	2	2年次	選択必修	
租税法演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
論文指導	応用・実践科目	2	2年次	選択	論文指導Ⅰ 論文指導Ⅱ
	論文指導Ⅱ	4	2年次	選択	

必修20単位・選択必修6単位(計26単位)を含め50単位以上

多種多様な科目を開講することで入学者のニーズにあった履修を可能にしています。また、効果的な学修を可能にするべく、以下のように大きく3つのコースに分け、それぞれの目的に関連する科目を整理し、履修例として履修モデル(平日コースを想定)を準備しています。

1 公認会計士コース

公認会計士を目指す方のための履修モデル。公認会計士試験との連携を重視したい方向けの履修モデル(CPA①)、公認会計や中小企業の会計、コンサルティングといった会計専門職大学院ならではの分野を学びたい方向けの履修モデル(CPA②)があります。

2 税理士コース

税理士を目指す方のための履修モデル。学位論文(税法分野)を執筆する方向けの履修モデル(税理士①)、学位論文(会計分野)を執筆する方向けの履修モデル(税理士②)があります。

3 組織内会計人コース

企業の財務・経理部門や非営利組織で働く方が、会計や近隣分野の知識を身につけるための履修モデル。すでに企業で働いておりキャリア・アップをしたい方や企業への就職を有利にした学部卒業生向けの履修モデル(組織内①)、非営利組織で働いている方向けの履修モデル(組織内②)があります。

必修・選択必修科目	コース	目的別関連科目			さらなる学び
		全コース共通	各コース内共通	モデル別	
会計リテラシー アカデミック・ライティング 基本簿記 基本財務会計 国際財務報告基準※1 国際会計※1 基本原価計算 基本管理会計 会計監査 会計職業倫理 企業法基礎 企業法応用 租税法原理 演習I・II※2	CPA①	上級簿記 上級財務会計 会計基準 財務分析 監査基準 監査制度 法人税法I 所得税法I 消費税法 ビジネス統計	会計専門職基礎※3 国際財務報告基準 国際会計 連結会計 上級原価計算 上級管理会計 経営管理 経営コンサルティング ICTと会計・税務	会計制度 意思決定会計 企業評価 監査実務	左記以外の科目
	CPA②		非営利法人会計 公会計 中小会社会計 非営利・公会計実務指導		
	税理士①		法人税法II 所得税法II 相続税法 租税手続法・争訟法 国際税務		
	税理士②		国際財務基準 国際会計 会計制度 連結会計		
	組織内①		会計制度 意思決定会計 企業評価 コーポレート・ファイナンス 経営管理 経営コンサルティング		
組織内②	非営利法人会計 公会計 非営利・公会計実務指導				

※1…「国際財務報告基準」と「国際会計」は選択必修科目なので、どちらか1科目は必ず履修します。
 ※2…演習I・IIは、2年次において「財務会計演習」「管理会計演習」「監査演習」「租税法演習」の中から1つを選択します。
 ※3…「会計専門職基礎」は、公認会計士試験合格後の実務補修における単位へ振り替え可能な科目です。
 ※4…税理士試験の科目免除を申請する人は、「論文指導I」と「論文指導II」が必修になります。

特集 2 VOICE [在学生の声]

会計専門職業人という
 同じ目標に向かって
 切磋琢磨している在生たち。
 会計専門職研究科での学びは
 どのようなものか、
 在学生の声を聞いてみましょう。



院で税務・会計分野を
 ゼロから学修。
 その魅力に熱中する日々です
 1年生 宮蘭 亜郁美さん

大学では栄養学を学び、管理栄養士の資格を取得しましたが、卒業直前に「もっと難しい勉強に挑みたい」「将来は経営者になりたい」と決意。叔父と同じ税理士を目指すことに決めました。税理士試験合格だけでなく、税理士業務の実践的な内容や、経営・コンサルティングまで深く学びたい、そして仲間と一緒に税理士を目指す過程を楽しみたいと思い、大学院へ進学をしました。平日コースに福岡から通学していますが、密度の濃い、刺激的な毎日を過ごせています。法律に強く、顧客から頼られるような税理士になるため、ここでしか学べないことをしっかり吸収したいです。



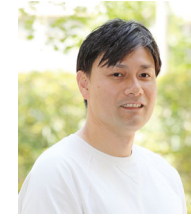
いち早い試験合格を叶え、
 税理士として活躍したい
 1年生 緒方 義恵さん

高校生の頃から税理士を目指していました。熊本学園大学で商学科会計専門職コースに進学し、3年生で税理士試験に1科目合格。院生や先生から話を聞いて、学位取得による税理士試験科目免除という選択肢があることや、学修環境を魅力に感じ、大学院への進学を決意しました。授業は学部時代よりもはるかに難しいですが、分かったときの喜びも大きく、税理士として将来役立つ知識を身に付けられていると思います。2年間で税理士試験科目合格と学位論文を終えて税理士となるのが、今の目標。そして、女性ならではの目線や感性を生かした税理士となって、多くの人を支えられる存在になりたいです。



50代からの大学院進学は、
 想像以上に有意義な選択肢
 1年生 浦田 光一さん

30代の頃に税理士事務所に勤めながら税理士試験合格を目指していましたが、資格がなくとも実務をこなせる現状に満足していません。しかし、税務調査の現場で自身の非力さを実感し、税理士試験への再挑戦を決意。3科目合格した時点で、「残り2科目合格よりも、院で学び論文を書く方が有意義だ」と感じて、50代での大学院進学を選びました。平日は不動産会社に勤務し、ウィークエンドコースに通っています。周りにも社会人が多く、いろいろな話を聞いて刺激にもなります。受験勉強が長期化している人や、年齢がネックとなって大学院への進学をためらっている人も、ぜひ一歩踏み出して進学してほしい、恵まれた環境です。



恵まれた学修環境で、
 税理士試験への勉強に
 集中できます
 2年生 齊藤 進さん

大学卒業後、地方銀行に勤務する中で税理士の仕事に魅力を感じ、税理士事務所に転職して働きながら通信教育で税理士を目指していました。しかし両立は簡単ではなく、より確実に、少しでも早く税理士となって実務に集中したいと、九州で唯一の会計専門職研究科がある本学への進学を決意。一旦、仕事を辞めて平日コースに久留米から通っています。自分専用の自習室や図書館など環境に恵まれ、先生方の指導も丁寧で、実務に役立つ講義も豊富で、充実した日々の中、1年生のときに税理士試験に1科目合格することができました。税理士として独立開業し、大学院で得た知識や経験を生かして企業を多方面から支援できるよう、合格を目指します！



税務のスペシャリスト、
 かつ経営の
 ゼネラリストも目指す
 2年生 逆瀬川 豊さん

福岡の税理士事務所に勤めながら税理士を目指していましたが、仕事が楽しくて勉強は進まずにいました。しかし先輩の勧めもあり、会計・税務に精通した高度専門職業人として貢献できる人材になりたいと、大学院のウィークエンドコースへ進学を決意。当初は税理士試験合格が一番の目標と考えていましたが、試験に関係なくとも面白く感じられる講義内容が多く、実務で役に立つ知識が身についていると思います。先生方も多種多様な経歴からいろんな話をしてくれて、私の視野も広げてもらっている感覚もあります。税理士への近道でありながら、その先の税理士としての王道も手に入れることができる環境です。



成宮 哲也 教授(研究科長)
Tetsuya Narumiya

租税法分野

西南学院大学大学院経営学研究科修士(経営学)



飯村 光敏 准教授
Mitsutoshi Iimura

管理会計分野

横浜市立大学商学部 学士(会計学)
公認会計士・税理士



岩武 一郎 教授
Ichiro Iwatake

租税法分野・実践分野

熊本学園大学大学院経営学研究科修士(経営学・熊本学園大学)・税理士



大塚 成男 教授
Shigeo Ohtsuka

財務会計分野

一橋大学大学院商学研究科修士(後期課程)単位取得退学
修士(商学)・政府会計学会副会長
日本会計研究学会理事・日本IR学会理事
財務省・財政制度等審議会 臨時委員
証券アナリスト試験委員・元公認会計士試験委員



坂本 敬子 講師
Keiko Sakamoto

租税法分野・実践分野

熊本学園大学大学院経営学研究科修士(経営学)・税理士



佐藤 信彦 教授
Nobuhiko Sato

財務会計分野・監査分野

明治大学大学院商学研究科修士(後期課程)単位取得退学
修士(商学)・日本簿記学会顧問・前会長
日本会計教育学会副会長・税務会計研究会副会長
日本学術会議連携委員・経営関連学会協議会副理事長
元公認会計士試験委員・元税理士試験委員



新改 敬英 准教授
Takahide Shinkai

管理会計分野

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士(MBA)
九州大学大学院経済学府博士(後期課程)
単位取得退学・博士(経済学)
株式会社ビューティ花壇取締役(非常勤)
監業キャピタル株式会社第2号ベンチャーファンド投資諮問委員
米国ワシントン州公認会計士



末永 英男 シニア客員教授
Hideo Suenaga

租税法分野

西南学院大学大学院経営学研究科修士(後期課程)
博士(経済学・九州大学)・税理士
税務会計研究会理事



宮崎 裕士 准教授
Yuji Miyazaki

税法分野

熊本学園大学大学院商学研究科修士(後期課程)修了
博士(商学)



山本 健人 准教授
Kento Yamamoto

監査分野

神戸大学大学院経営学研究科修士(後期課程)修了
博士(経営学)



吉永 賢一郎 准教授
Kenichiro Yoshinaga

財務会計分野・監査分野・
実践分野

東京大学経済学部 学士(経済学)
公認会計士・税理士



吉野 任 准教授
Makoto Yoshino

財務会計分野・監査分野

同志社大学経済学部 学士(経済学)
公認会計士・税理士



山崎 広道 特任教授
Kodo Yamazaki

租税法分野

大東文化大学大学院法学研究科修士(後期課程)修了
博士(法学・大東文化大学)
日本税法学会常務理事

兼任教員

井上 弘樹
兼任教授

甲斐 好文
兼任准教授

熊谷 啓希
兼任准教授

非常勤講師

天川 竜治
宇城市役所
総務部長

小蘭 和剛
熊本県立大学
総合管理学部 准教授

鈴木 一水
神戸大学・社会システム
イノベーションセンター 教授

橋本 研
博士(商学・熊本学園大学)
税理士法人近代経営・税理士

落合 幸隆
公認会計士

笹山 茂
本学名誉教授

角田 幸太郎
佐賀大学
経済学部 教授

林 隆敏
関西学院大学
商学部 教授

城戸 善和
元本学教授

澤田 成章
鹿児島大学
法文学部 准教授

飛田 努
福岡大学
商学部 准教授

日野 修造
中村学園大学
流通科学部 教授

倉田 幸路
立教大学
名誉教授

杉本 徳栄
関西学院大学
経営戦略研究科 教授

長吉 眞一
明治大学名誉教授
公認会計士

米本 昌弘
有限責任監査法人トーマツ
パートナー

(五十音順)

アドバイザー・ボード

2019年度より、産業界等との連携により、教育課程を編成し、円滑かつ効果的に実施するため、アドバイザー・ボードを設けました。会計実務または教育に造詣が深い学外有識者との連携で、カリキュラムの充実を目指します。

窪田 真	有限責任監査法人トーマツ 熊本連絡事務所長	東 秀優	南九州税理士会会長
倉崎 好太郎	RITAグループホールディングス株式会社 代表取締役社長	山浦 久司	明治大学名誉教授 元会計検査院長
千代田 邦夫	元公認会計士・監査審査会会長 元本学会専門職研究科教授		(五十音順)

◆ ゲスト講義・講演会

ゲスト講義や講演会では、毎年著名な先生方を多数お招きしております。
在学中だけではなく、一部の講演会には修了生も参加することができます。

上村 達男氏	早稲田大学名誉教授	関根 愛子氏	早稲田大学商学学術院教授 元日本公認会計士協会会長	弥永 真生氏	明治大学教授
大淵 博義氏	中央大学名誉教授	辻山 栄子氏	早稲田大学名誉教授 元国税審議会会長	山田 辰己氏	あずさ監査法人 元IASB理事
酒井 克彦氏	中央大学法務研究科教授	徳賀 芳弘氏	京都大学名誉教授 企業会計審議会会長 前日本会計研究学会会長	山田 康裕氏	立教大学教授 税理士試験委員
桜井 久勝氏	神戸大学名誉教授 前公認会計士・監査審査会会長 元日本会計研究学会会長	朝長 英樹氏	日本税制研究所代表理事	吉見 宏氏	北海道大学教授

(五十音順)

修学概要 study

◆ 授業時間

授業については、月曜日から金曜日までの平日コースと金曜日夜間・土曜日・日曜日を中心としたウィークエンドコース、長期休暇を利用する集中講義等の授業があります。授業時間帯は右記の表のとおりです。各自の履修スタイルにあわせて時間割を編成することができます。

1時限	9:00~10:30	5時限	16:20~17:50
2時限	10:40~12:10	6時限	18:00~19:30
3時限	13:00~14:30	7時限	19:40~21:10
4時限	14:40~16:10		

◆ 会計専門職研究科行事(2023年度)

<p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学式 新入生歓迎講演会 春学期授業開始 	<p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試(7月募集) 夏期休業 集中講義 学位論文提出(9月修了) 学位論文審査(9月修了) 	<p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試説明会 	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋学期定期試験 学位論文提出(3月修了) 入試(1月募集) 春期休業 学位論文審査(3月修了)
<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文テーマ発表会(税法分野) 創立記念日 	<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 税理士試験 公認会計士試験(論文式) 定期試験 	<p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文予備審査会 入試(11月募集) 	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試(2月募集)
<p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試説明会 	<p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 中間発表会(税法分野) 学位記授与式(9月期) 秋学期授業開始 	<p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文指導ガイダンス 入試説明会 冬期休業 	<p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 学位記授与式(3月修了) 新入生・在学生登校日

[2024年度概要]

	7月募集 (一般・社会人・推薦)	11月募集 (一般・社会人・推薦・飛び級)	1月募集(2024年) (一般・社会人・推薦・飛び級)	2月募集(2024年) (一般・社会人・推薦)
出願期間	6月13日(火)~6月20日(火)	10月24日(火)~10月31日(火)	1月9日(火)~1月16日(火)	2月6日(火)~2月13日(火)
試験日	7月2日(日)	11月12日(日)	1月28日(日)	2月25日(日)
合格発表	7月7日(金)	11月17日(金)	2月2日(金)	3月1日(金)
入学手続	[第1回] 7月21日(金) [第2回] 2024年 2月16日(金)	[第1回] 12月1日(金) [第2回] 2024年 2月16日(金)	2月16日(金)	3月8日(金)
試験会場	本学	本学・福岡*	本学・福岡*	本学

*福岡試験会場 福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4-8-15)

入試種別	募集人員	募集				試験科目			
		7月募集	11月募集	1月募集	2月募集	書類審査	専門科目 ※1・※2	小論文 ※3	面接
一般	15名程度	◎	◎	◎	◎	●	●	—	●
社会人	15名程度	◎	◎	◎	◎	●	—	●	●
推薦	若干名	◎	◎	◎	◎	●	—	●	●
推薦 (本学商学部会計専門職コース対象)	若干名	◎	◎	◎	◎	●	—	—	●
企業等推薦	若干名	◎	◎	◎	◎	●	—	—	●
飛び級	若干名	—	◎	◎	—	●	●	—	●
飛び級特別推薦 (本学商学部会計専門職コース対象)	若干名	—	◎	◎	—	●	—	—	●

- ※1 専門科目:簿記、会計学、税務会計の3分野からそれぞれ出題。出願時に1分野を選択します。7月募集は、簿記のみ。
 ※2 次のいずれかに該当する者は、申請により専門科目を免除することがあります。
 ① 公認会計士試験短答式試験合格者 ② 日本商工会議所簿記検定試験1級合格者
 ③ 全国経理教育協会簿記能力検定試験上級合格者 ④ 税理士試験1科目以上合格者
 ⑤ 米国公認会計士資格試験合格者
 ※3 小論文は、経済・経営に関する基礎的な素養を問います。

◆個別の出願資格審査

本研究科において、個別の出願資格審査をおこない、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもので、入学時に24歳に達する方は、社会人入学試験の出願資格を得ることができます。希望される方は、大学院事務室へ電話でご連絡ください。

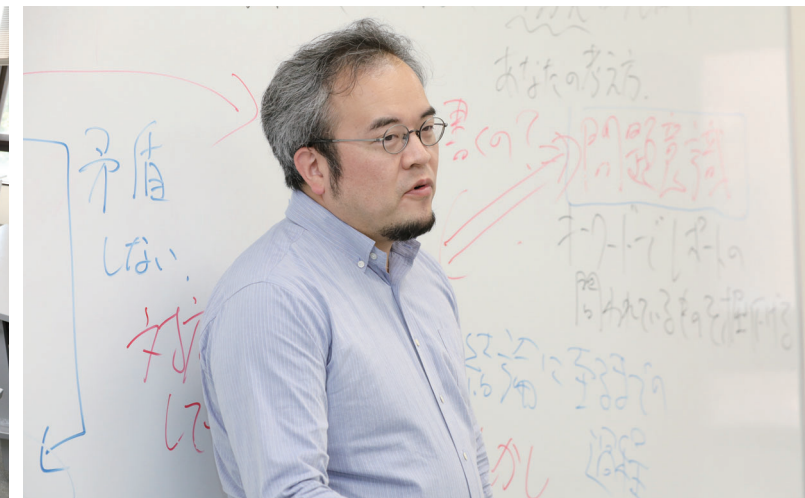
入試説明会		個別相談
6月10日(土)	10月22日(日)	6月26日(月) ~随時 11:00~21:00 ※日祝を除く
10月21日(土)	12月10日(日)	
12月9日(土)	14:00~	
熊本会場 本学14号館5階	福岡会場 福岡ガーデンパレス	

※詳しくはホームページをご覧ください。

[2023年度結果]

◆入試状況(入学定員 30名)

入試種別	志願者数				受験者数				合格者数				入学手続者数				入学者数
	7月	11月	1月	2月	7月	11月	1月	2月	7月	11月	1月	2月	7月	11月	1月	2月	
一般	4	11	6	5	4	11	6	4	4	10	5	4	4	9	5	4	22
社会人	0	4	1	1	0	4	1	1	0	4	1	1	0	4	1	1	6
推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
推薦 (会計専門職コース)	0	5	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	5
企業等推薦	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1
飛び級	/	0	0	/	/	0	0	/	/	0	0	/	/	0	0	/	0
飛び級特別推薦 (会計専門職コース)	/	0	0	/	/	0	0	/	/	0	0	/	/	0	0	/	0
計	4	20	7	7	4	20	7	6	4	19	6	6	4	18	6	6	34
全入試計	38				37				35				34				



修了後の進路 course

[2022年度]

修了予定者数	修了者数	修了者のうち	
28	22	税法に関する論文を作成し 審査に合格した者	会計に関する論文を作成し 審査に合格した者
		20	2

修了者のうち			
就職(現職継続を含む)	進学	資格試験の勉強を継続	その他
17	0	4	1

税理士試験合格者数※1	公認会計士試験(短答式試験)合格者数	公認会計士試験(論文集)合格者数
7	0	0

※1 学位取得による税理士試験科目免除を含め、税理士登録に必要な試験5科目に合格した者の数

◆ 会計専門職研究科 特別奨学金

本学大学院会計専門職研究科に在学する院生の学修及び研究活動を奨励することを目的とした奨学金制度です。

対象	種別	交付額	人数	資格・条件
本研究科 在学学生	給付	30万円	若干名	学業、人物ともに優秀であると認められた者

※2022年度は、各学年5名、計10名に交付しました

◆ 大学独自の奨学制度

名称	対象	種別	交付額	資格・条件	募集期間等
肥後銀行国際交流奨学基金	本学学生	給付	年額36万円	経済的な援助を必要とする正規の私費外国人留学生及び海外へ長期留学する日本人学生	6月頃
田島司郎国際奨学基金	本学学生	給付	年額24万円 ※半年の場合は12万円	正規の私費外国人留学生、及び長期(半年または1年)留学する本学学生	10月～1月頃
同窓会志文会奨学金	本学学生 (外国人留学生は除く)	給付	授業料(半期)相当額	自然災害、その他家庭の経済状況が急変し、修学が困難と認められる事態が発生した者(1号奨学生) *外国人留学生を除く	随時
			年額30万円	本学から外国へ1年以上私費留学する者(3号奨学生) *外国人留学生を除く	随時

◆ 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金は、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学資として奨学金を貸与するものです。日本学生支援機構奨学金は貸与ですので、返還の義務があります。なお、申し込みの際には、収入金額が一定の基準額以下であることなどの条件があります。

対象	種別	交付額	資格・条件	募集期間等
修士・専門職学位課程	貸与	第一種(無利子) 月額 5万円又は8.8万円	研究を継続するのに奨学金の貸与が必要な者	4月
		第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円		
博士後期課程	貸与	第一種(無利子) 月額 8万円又は12.2万円		
		第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円		

大学院において第一種奨学金の貸与を受けた院生で、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学金の全部または一部の返還が免除される制度(特に優れた業績による返還免除制度)があります。

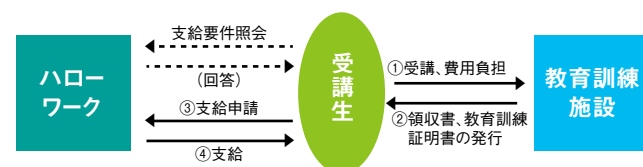
支援制度 support system

◆ 教育訓練給付制度

「教育訓練給付制度」は、働く方の能力開発、キャリアアップを支援するため、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し、一定の要件を満たした方に対して、受講費用の一部を給付する制度です。本学の修士課程・専門職学位課程は、厚生労働大臣から「一般教育訓練給付の対象講座」として指定を受けています。一定の条件を満たして修了した方は、教育訓練給付金(上限10万円)を受給できます。

支給額
受講者本人が支払った受講費用の20%(上限10万円)

- 支給要件**
- 初めて利用する方
雇用保険加入期間が通算1年以上
 - 以前利用したことがある方
前回利用開始日から雇用保険加入期間が通算3年以上



※長期履修生は、教育訓練給付制度の申請ができません。

◆ 文献等複写補助

文献複写、授業用のレジュメの作成などのため、学内で使えるコピーポイント(年間1,500枚まで)を付与します。

◆ ティーチング・アシスタント 制度

本学では、学部教育の充実及び大学院生が教員・研究者になるためのトレーニング機会の提供と経済的支援を目的として、ティーチング・アシスタント制度を設けています。会計専門職研究科の院生も毎年多くの方がティーチング・アシスタントとして活躍しています。

◆ しょうがい学生支援

本学はしょうがいのある学生に対し他の学生と同様に学べるよう学修支援を実施しています。

◆ 研修制度

会計大学院協会による、東京・大阪での国内大手4監査法人(有限責任あずさ監査法人、PwCあらた有限責任監査法人、EY新日本有限責任監査法人、有限責任監査法人トーマツ)の研修へ参加できます。また、同窓会による税理士・会計士事務所等での研修も実施しています。

◆ 納入金(参考:2023年度)

[専門職学位課程]

(単位:円)

学年・期別	種別	一般納入金			委託徴収金 同窓会費	合計	納入期限
		入学金	授業料	施設費			
第1年次 (2023年度入学)		100,000				100,000	入学手続 指定日時
	1期		550,000	50,000		600,000	
	2期		550,000	50,000	20,000	620,000	9月28日
	合計	100,000	1,100,000	100,000	20,000	1,320,000	
第2年次 (2022年度入学)	1期		550,000	50,000		600,000	4月28日
	2期		550,000	50,000		600,000	9月28日
	合計		1,100,000	100,000		1,200,000	

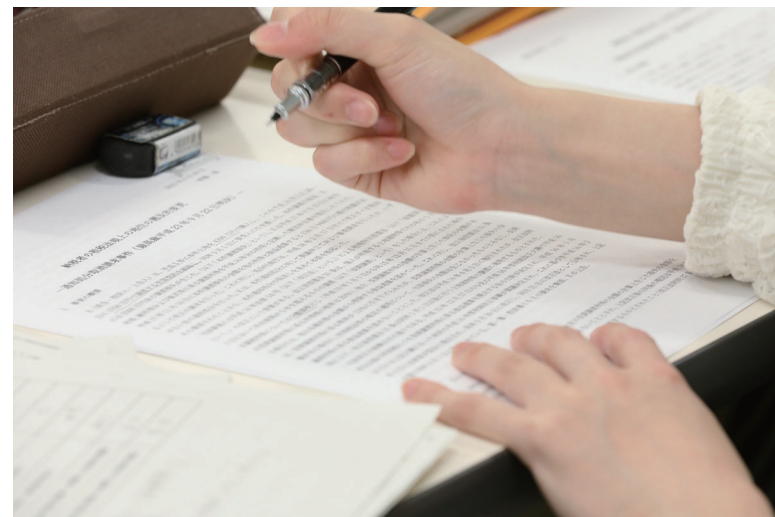
[注] ① 入学金については、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除する。
② 修業年限を超えた場合の一般納入金は、授業料550,000円及び施設費100,000円とする。
(春学期修了予定者の一般納入金は、授業料275,000円及び施設費50,000円とする。)
③ 同窓会費は、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除する。
④ 納入期限が休日あるいは土曜日の場合は、その翌日または翌々日とする。

[専門職学位課程長期履修生]

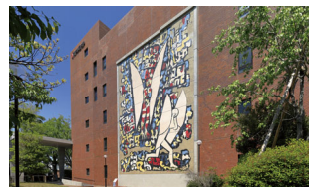
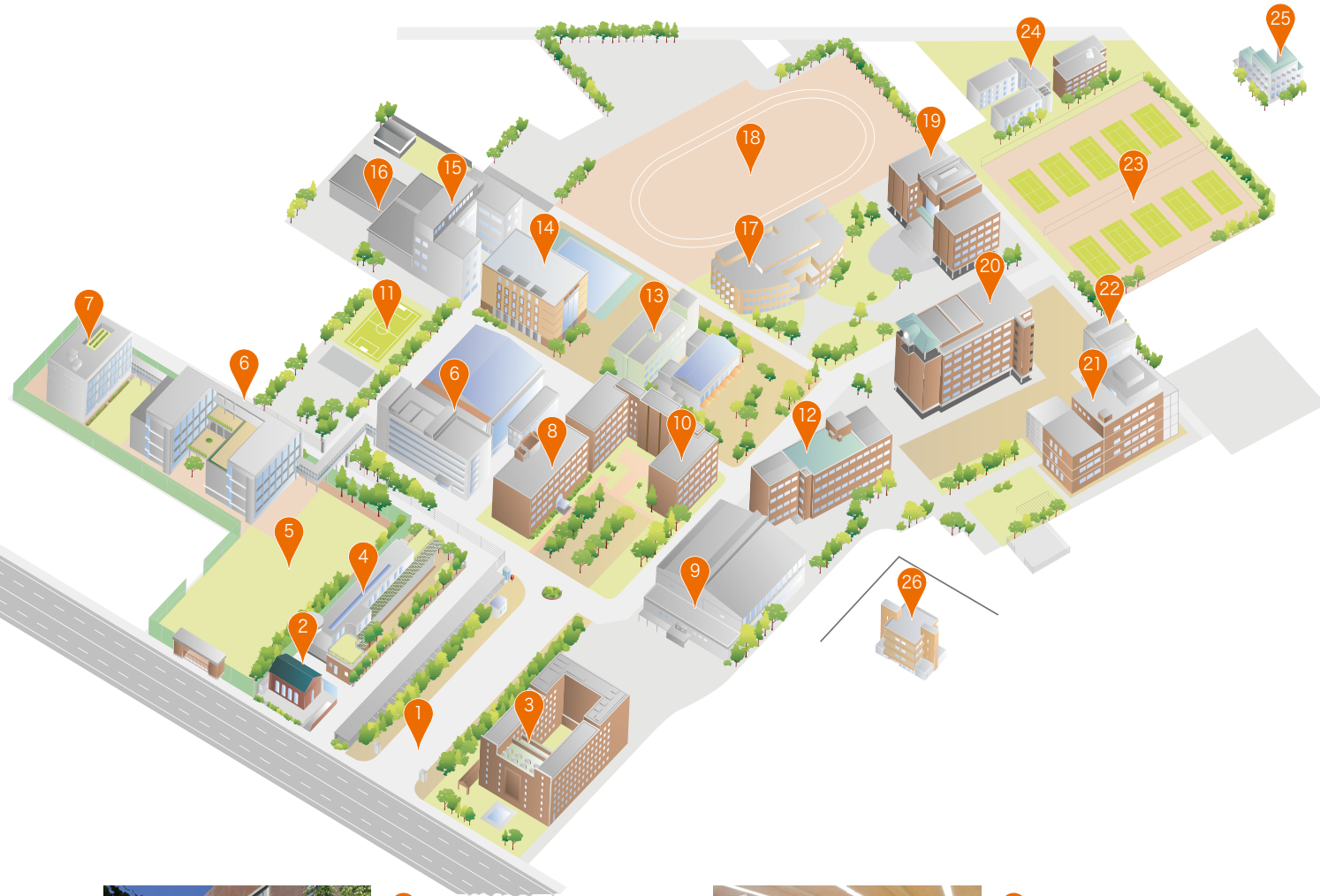
(単位:円)

学年・期別	種別	一般納入金			委託徴収金 同窓会費	合計	納入期限
		入学金	授業料	施設費			
第1年次 (2023年度入学)		100,000				100,000	入学手続 指定日時
	1期		368,000	50,000		418,000	
	2期		368,000	50,000	20,000	438,000	9月28日
	合計	100,000	736,000	100,000	20,000	956,000	
第2年次 (2022年度入学)	1期		366,000	50,000		416,000	4月28日
	2期		366,000	50,000		416,000	9月28日
	合計		732,000	100,000		832,000	
第3年次 (2021年度入学)	1期		366,000	50,000		416,000	4月28日
	2期		366,000	50,000		416,000	9月28日
	合計		732,000	100,000		832,000	

[注] ① 入学金については、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除する。
② 修業年限を超えた学生の一般納入金は、授業料550,000円及び施設費100,000円とする。
(春学期修了予定者の一般納入金は、授業料275,000円及び施設費50,000円とする。)
③ 同窓会費は、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除する。
④ 納入期限が休日あるいは土曜日の場合は、その翌日または翌々日とする。



- | | | | |
|------------------|-------------|-------------|-------------------|
| 1 正門・銀杏並木 | 8 本館 | 15 8号館(部室棟) | 22 ピアノ練習棟 |
| 2 産業資料館 | 9 総合体育館 | 16 第二体育館 | 23 テニスコート |
| 3 14号館(60周年記念会館) | 10 研究棟 | 17 図書館 | 24 大江第一寮・第二寮(女子寮) |
| 4 付属敬愛幼稚園 | 11 人工芝グラウンド | 18 大江グラウンド | 25 保田窪寮(男子寮) |
| 5 多目的グラウンド | 12 4号館 | 19 12号館 | 26 国際交流会館 |
| 6 付属高等学校 | 13 7号館 | 20 11号館 | |
| 7 付属中学校 | 14 学生会館 | 21 新1号館 みらい | |



3 14号館(60周年記念会館)
西側外壁に故・海老原喜之助画伯のモザイク壁画「蝶」を再現した6階建ての教室棟。2階にフェアトレードの普及を目的としたフェアトレードカフェ、5階に大学院事務室があります。



13 7号館
2021年9月、キャンパスライフの中心となる学食(7号館1階)がリニューアル!7号館(学食)横にはATMが設置。奨学金の引き出しにも便利です。



17 図書館
開架図書20万冊、965席の閲覧室がある静かで落ち着いた環境。読書やCD・DVDの視聴、パソコンの利用、グループ学習などで、多くの学生や一般の方が利用しており、西日本有数の規模と内容を誇っています。



9 総合体育館
1階にはトレーニング室があり、充実のフィットネスマシンが利用可。専属の健康運動指導士からトレーニングメニューなどについてアドバイスも受けられます。



14 学生会館
1階にはローソン、2階には学生生活を支援するグリーンキャンパスカウンター、理美容室、写真店などの店舗があります。



その他の学生生活サポート・福利厚生については
二次元バーコードよりご確認ください。



▶ 熊本桜町バスターミナルより

- 【車利用】約15分
- 【熊本市バス利用】**18**のりば 約20分
 - ◎子飼渡瀬線(こかいわたるぜせん) …バス停「学園大前」下車すぐ
 - ◎大江城西線(おおえじょうせいせん) …バス停「学園大前」下車すぐ
 - ◎渡鹿長嶺線(とろくながみねせん) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 - ◎東西線(とうざいせん) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
- 【産交バス利用】**18**のりば 約20分
 - ◎熊本整形外科・託麻原本通經由…バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 - ◎子飼橋・託麻原本通經由…バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

▶ 九州新幹線・JR鹿児島本線 熊本駅より

- 【車利用】約15分
- 【熊本市バス利用】**18**のりば 白川口(東口) 約20分
 - ◎熊学ライナー熊本駅～熊学ノンストップ … バス停「学園大(キャンパス内)」下車
 - ◎第一環状線(大学病院回り) … バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 - ◎中央環状線(大学病院回り) … バス停「学園大前」下車すぐ

▶ JR豊肥本線 水前寺駅より

- 【徒歩】北口より約10分
- 【熊本市バス利用】北口より約3分
 - ◎大江城西線…バス停「学園大前」下車すぐ

▶ 熊本市電 電停「味噌天神前」より

- 【徒歩】約15分

▶ 九州自動車道 熊本インターより

- 【車利用】約15分

▶ 熊本空港より

- 【車利用】約30分
- 【空港バス利用】約30分
 - ◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約15分

熊本駅直通のシャトルバス「熊学ライナー」

JR熊本駅～本学間をノンストップで結ぶシャトルバスを運行しています。(運賃片道100円)

- ▶ JR熊本駅発 …… ①8:20 ②9:15 ③10:05 ④12:25 ⑤14:05
 - ▶ 熊本学園大学発 …… ①13:00 ②14:45 ③16:25 ④17:20 ⑤18:20
- (土・日・祝は運休) ※最新の運行状況は大学ホームページをご覧ください。

※大学発は水道町バス停(降車のみ)を経由します

